

精一杯に努力を重ね、唯々只管一所懸命に、静岡県が好きだから・・・

日頃は、さち茂人の活動にご支援とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。早いもので、4年の任期を迎え、4期目への挑戦が間近に迫ってきました。今回の任期中はそのほとんどが新型コロナ感染症対策の時期と重なり、疫災対策と影響を受ける方々の支援策に集中してきました。私は厚生委員会で4年のうち2年間、新型コロナ感染症対策に関わり、一方で会派では政務調査会筆頭副会長(1年目)として、各団体のコロナによる影響を調査したほか、総務会長(3年目)として会派代表を支え、県のコロナ対策に万全を期し、出来る限りの支援策を推進してきました。

コロナによる地域経済への影響はまだ厳しく、先の見えない物価高騰への対策、昨年静岡市で発生した台風15号の集中豪雨による被害からの復旧復興、時間雨量100ミリに対応した浸水対策に向けた計画の見直しなど、静岡県が抱える喫緊の課題に対して引き続き力を注いで参ります。また、一昨年に静岡県の人口が360万人を切り、10年前から約3割減少(約1万人減)しました。県内出生数は2万人余と少子高齢化による自然減と、若者を中心に首都圏や名古屋・大阪などの都市部への進学や就職による社会減が止まらず、人口減少対策は待ったなしの状況です。静岡県・静岡市の人口減少問題に果敢に立ち向かっていきたいと思っております。

コロナ禍で私たちの生活スタイルは少し変わりました。この状況をポジティブに考え、デジタル化やICT・AIを活用したイノベーションによる事業展開、環境などの新たな産業創出により、確かな成長を実感出来る静岡県を皆様と一緒に創って行きたいと考えます。

結びに今後ともさち茂人に力強いご支援とご指導をお願い申し上げ、これからの決意とさせていただきます。

静岡県議会議員 佐地茂人

知事より R4 年度の静岡県監査委員に任命され務めてきました！！

県の監査委員とは、地方自治法に定められた県の独立した執行機関で、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、県等の行財政の公正さと歳入確保や歳出抑制、または組織の合理化等を経済性・効率性・有効性の3Eの視点も活用して監査を行います。静岡県では、実効性の高い監査を推進し、優れた見識を有する者から選任された常勤委員2名、議会より2名の計4名の監査委員で構成され、監査委員事務局が委員の行う監査事務の補助を行います。今年度、私の年間活動は、以下のようになっています。

- 5月26日 委員協議会(包括外部監査)
- 6月7日 浜松技術専門学校、掛川東高等学校
- 6月13日 委員協議会(監査結果)
- 7月8日 浜松東警察署、食肉衛生検査所
- 7月14日 袋井土木事務所
- 7月15日 内部統制に関する意見交換会
- 7月26日 本庁(くらし・環境部、企業局)
- 7月28日 本庁(監査委員事務局)
- 7月29日 本庁(収用委員会事務局、労働委員会事務局)
- 8月1日 本庁(交通基盤部)
- 8月4日 本庁(健康福祉部)
- 8月10日 本庁(経営管理部)
- 8月30日 委員協議会(決算審査)
- 9月8日 中部農林事務所【工事随時】
- 9月9日 決算審査意見書知事提出
- 9月13日 委員協議会(内部統制)
- 9月22日 委員協議会(監査結果)
- 11月4日 沼津土木事務所
- 11月8日 西部地域局、西部農林事務所
- 11月15日 静東教育事務所、東部農林事務所
- 11月28日 委員協議会(監査結果)
- 1月18日 中央特別支援学校
- 1月26日 委員協議会(包括外部監査)
- 1月27日 浜北特別支援学校
- 2月2日 工科短期大学校、静岡県道路公社
- 2月8日 熱海警察署
- 2月9日 下田土木事務所
- 2月13日 委員協議会(監査結果)
- 3月10日 知事・副知事との懇談会
- 3月17日 委員協議会(監査結果)
- 3月23日 委員協議会(包括外部監査)

*監査委員としての自分のテーマとして、①内部統制の徹底、②委託業務の適正性、③出先機関の施設の省エネ対策と老朽化対策及びデジタル化を中心に質疑を行いました。

今年度は熱海伊豆山の土砂災害復旧や盛土条例による不法盛土摘発等があり、昨年9月の牧之原市内の幼児バス置き去り事件や11月の裾野市内認可保育園の不適切保育が発生し、子どもの安全管理を今一度再点検することがありました。

R5年2月県議会定例会の注目予算について

いよいよ今期最後の県議会定例会が2月14日に開会しました。令和5年度の1年間の予算審議を行う(当初予算)議会が知事の提案説明要旨によりスタートしました。

- 私が注目している予算内容をいくつかお伝えしますと、
- ①移住・定住関連事業 583,695千円 東京圏からの移住者に対して支援金を支給する事業です。子育て世帯は子ども一人につき100万円が加算されます。今年度はテレワークも含め2000名越えの移住者でしたが、本事業の活用により、次年度は東京圏から3000人、東京圏以外から550人、計3550名の移住者を目指していきます。私の目標は、数年後に1万人の移住者を実現したいと思っております。
 - ②再生可能エネルギー導入促進関連事業 746,100千円 再生可能エネルギーや水素エネルギー等の導入促進のため、事業者の太陽光発電設備の導入等を支援します。また、小水力・バイオマス等再生可能エネルギー導入事業者や、水素を利用した燃料電池バスの静岡地区への導入に対して助成します。
 - ③脱炭素社会実現関連事業 626,273千円 温室効果ガス排出量の多い産業・業務部門と家庭部門の対策を促進するため、温室効果ガス削減対策を県がけん引します。産業・業務部門ではLED・空調機器等省エネ機器、エコ生産機器などの設置や、建築物ZEB化のための設計費に対して助成します。

さち茂人は、これからの静岡を考える!!

*人口減少対策では、移住者支援、企業立地、子育て支援策が重要であり、本県の子育て支援策に本気度が足りないのではないかと考え、喫緊の課題として捉えています。産業振興では、デジタル化推進によるITを活用したICT事業、農業の生産性向上等やAI・ロボット産業で本県のものづくり産業を発展させていきたいです。一方で環境を活用したものづくり等環境産業と再生可能・環境負荷の低いエネルギー産業を推進し、環境県静岡で東中西の産業に変化を生み出していきたいと思っております。



出初式で出動
駿府城公園で一斉放水を行いました。

皆様と共に、さち茂人が目指すまち、静岡の将来！！

「もっともっと子育て支援・物価高騰対策・自然災害及び疫災対策を進める
三本の柱」で静岡の元気を取り戻そう。

○生まれる前から働く場所まで一体化した子ども中心支援

- ・不妊治療・不育治療補助金の増額
- ・出産育児手当増額、母子健診等の充実による子どもの早期安全対策
- ・こども庁創設により乳児期・幼児期の施策強化と子どもを守る支援策
- ・幼稚園・保育園などの子育て支援施設に安心して子どもを預けられる安全対策の強化
- ・児童相談所へ民事対策弁護士の設置等によるDV対策強化
- ・特別支援学校の狭隘化解消と駿河区への新特別支援学校設置
- ・小学生に対するパソコン等のICT機器を活用した授業の推進
- ・中学生の部活動とスポーツクラブへのコーチ制等、地域における部活動指導体制整備
- ・特徴ある公立高等学校の推進と私学振興で県内の高校力を強化
- ・県内大学の文理融合学科の設置・支援
- ・次代を担うグローバル人材の育成
- ・就職先は静岡でUターン対策の充実
- ・働く女性がきらりと輝く、安定した職場の環境支援

○静岡経済の復活

- ・若者が静岡で働くことが出来る企業立地の推進
- ・コロナ禍により高まる地方暮らしへのニーズを的確に捉えた静岡の魅力発信により、移住・定住を促進
- ・加工食品や健康食品はもとより、医療・医薬品等の製造・販売支援で県内中部地区のフーズヘルスケア産業を推進
- ・県立大学と連携した機能性食品の開発支援と企業の新製品開発の促進
- ・クリーンエネルギー産業で環境保全から環境産業へ転換
- ・製品・サービスの高付加価値化とブランド力強化による地場産業と地域商業の活性化
- ・家具をはじめとする県産品の地産地消と販路開拓の促進
- ・多彩な地域産材製品の生産体制確保と販路拡大による、さらなる地場産材の利用促進
- ・もっともっと地産地消を、農地整備と農業振興による生産・販売量増加
- ・中部横断自動車道の開通による交流・経済圏の拡大を契機とした「バイ・しずおか」などの観光関連産業と飲食店への支援策を継続
- ・大河ドラマの放送で注目を集める、久能山東照宮などの歴史文化、多彩で高品質な食文化など、地域の様々な魅力を活用した観光サービスの創出
- ・県立中央図書館の整備と並行した賑わい・交流促進の取組による、東静岡駅周辺地域の「文化とスポーツの殿堂」形成

○安心・安全して暮らせる生活の確保

- ・真に支援を必要としている方に支援の手が届く、実効性の高い物価高騰対策
- ・ゲリラ豪雨等、激甚化する風水害に備える県土強靱化の促進
- ・耐風15号被害を踏まえた、巴川水系の河川・排水施設の整備促進
- ・南海トラフ巨大地震などの津波被害から命を守る防潮堤かさ上げ整備の推進
- ・新型コロナウイルス感染症の教訓を踏まえた防疫対策の強化
- ・防犯力の強化で地域の犯罪を未然に防ぐ
- ・駿河区の警察署・交番の連携による警察力の強化
- ・実態に即した盛土等対策で土砂災害防止
- ・いつまでも元気で住み慣れた地域で生活できる、社会健康医学を活用した健康寿命の延伸



これまで、さち茂人が任期中に取り組んできた、駿河区の取組を紹介します！！（HPの県議会質問をご覧ください。）

- ① 静岡地区新特別支援学校 静岡市の知的特別支援学校の狭隘化対策と通学負担軽減策として、念願の駿河区特別支援学校（高等学校）が東静岡駅近くの視覚特別支援学校内に新設されます。現在は設計に入り、令和8年4月に開校の予定です。また、令和5年度入学者から、駿河総合高校内南の丘分校が各学年1クラスづつ増えます。さらに北特別支援学校の狭隘化対策が始まります。
- ② 新県立中央図書館の整備 東静岡駅南口県有地活用の第一弾として県立図書館が移転・新築されます。令和9年度中の完成を目指し、現在基本・実施設計中です。居心地の良い落ち着いた空間づくりに県産材を活用し、デジタル時代にふさわしい図書館として整備されることを期待しています。一方で残された県有地の活用は図書館の完成を待つことなく、進めていく必要があります。民間事業者からは、日常密着施設や生活利便施設、近隣住民対象施設との意見があります。周辺の民間専門学校等の学生や若者が集まり、地域住民も交流し人が賑わう空間としての計画が早急に必要です。
- ③ 新川交番が移転・新設されます。交番の移転には住民と地権者の協力が欠かせません。住民の要請で、大里西小近くの丸子池田線沿いに次年度から設計し、新設される予定です。この後は小鹿・池田交番の老朽化対策を考えていきます。また、最重要課題の静岡南警察署の建替えを来期には実現していきます。
- ④ 静岡海岸防潮堤レベル1 嵩上げ工事の推進 令和4年度当初予算では久能地区西平松地先まで進捗し、4年12月補正予算で2.4億円の予算を獲得しました。東へ670m延伸し、令和5年度予算で中平松地先までさらに100m工事を進めていきます。残り根古屋まで2,684m。来期までの4年間ですべて完了するよう努めます。一方で、昨年の台風第15号による集中豪雨の激甚災害は異常気象により、今後も毎年起こりうるということが容易に想像できることから、県・市連携のもと検証作業を行い浸水対策プランの見直しや方針・計画の立て直しに、私も引き続き関わっていきます。
- ⑤ 県立静岡東高等学校の校舎建替え実現まで10年の月日が掛かりました。築60年が経過し、校舎の老朽化が進んでいましたが、ようやく建て替えのための実施設計が今年度始まりました。完成は令和8年の夏ごろになりそうです。早期の完成が待たれます。

編集後記

昨年11月より静岡女子高校さんの向かいに後援会事務所を開きました。過去に何度も選挙を戦ってきた場所なので、皆さんもお馴染みになっていると思います。

この新聞が届く頃には佐地くんも統一地方選挙に向けて働きたい日々を過ごしていると思います。見掛けたら暖かな声をかけてあげてください。

令和5年3月吉日発行

発行責任者 林 稔久

編集担当 上條、小泉、島村、田中

静岡市駿河区八幡5丁目14-13

TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096